

2013年度 教師力アップゼミナール まとめ

2014/01/10

文責：三森

1. 今年度の活動内容

【前期】

(メンバー募集 4月初旬～26日)

① 5/7(火)1限

オリエンテーション

自己紹介・前期の活動内容について・北原先生よりアップゼミの資料を基にした講義
自己アピール表の提出と先生による添削

② 5/21(火)1限

模擬集団面接 1回目

ディスカッション (テーマ：いじめ)

③ 6/11(火)1限

模擬集団面接 2回目

ディスカッション (テーマ：体罰)

④ 6/25(火)1限

模擬集団面接 3回目

教科別ディスカッション (テーマ：授業における ICT 活用)

⑤ 7/16(水)1限

模擬集団討論・フィードバックとディスカッション

(テーマ：いじめの指導)

⑥ 8/1(木)10:00～

採用試験直前 北原先生へのQ&A

【後期】

⑦ 10/8(火)1限

採用試験の報告・後期の活動内容についてミーティング

生徒指導のロールプレイングと模擬授業の2本柱を進めることを決定

(後期からの追加メンバー募集 10/8～10/23)

⑧ 10/23(水)1限

ロールプレイング 1回目

(学級活動、遠足の行先でもめた場合)

⑨ 11/6(水)1限

ロールプレイング 2回目

(たばこ・クラス全体へいじめの事後指導・茶髪の指導と家庭訪問)

4回生の1年間、代表を務めた「教師力アップゼミ」の活動記録。様々なメンバーがいる中で、集団での学びの場をつくることを学んだ。

⑩ 11/20(水)1限

ロールプレイング 3回目

(万引きの引き取りと家庭訪問・クラス内の喧嘩での怪我・
クラス全体へ交通マナー指導)

⑪ 12/4(水)1限

模擬授業 1回目

(15分×2人、フィードバックとディスカッション)

⑫ 12/18(水)1限

模擬授業 2回目

(15分×2人、フィードバックとディスカッション テーマ：「質問と発問の違い」)

⑬ 1/10(金)4限

活動の振り返り・北原先生のお祝い

⑭ 1/10(金)5限

教員採用試験経験談を語る会

教職関連の授業で宣伝し、外部からも12人参加

(3人の受験者による経験談・教科別質問タイム)

2. 北原先生からのご講評

京大に残る伝統文化である自主性を発揮して取り組みを展開していた。教師は忙中閑で学習しなければならないが、初心を忘れず、自主的に学び続ける教師になってほしい。教師になってから、アップゼミでの場面指導を思い出して、稚拙だったと思えば、取り組みの成果があったということ。今後も、教師を目指す学生が、学力だけでなく実力をつける場として展開していけるとよい。

3. 今年度の振り返り・反省

- 学部には教職を本気で目指す人がおらず寂しかったが、こうして定期的に集まり情報交換をすることができてよかった。
- 毎回参加できたわけではなかったが、不定期な軽い参加の仕方でも、毎回有意義な時間を過ごすことができた。
- 教職という同じ夢を持つ人の集まる場所は貴重だった。話すのが楽しく、研究室のいい息抜きになった。また、同じ教師を目指す人でも、それぞれが教育に対して様々な考え方を持っていることを知れた。
- 年度初めには、自分が教師になるというイメージが全く持てていなかったが、周りから刺激を受けて採用試験を突破できた。
- 面接練習は試験本番に活かした。また後期の模擬授業では、自分ではそこそこできていると思っていたものに対して客観的な意見が得られてよかった。